

報告第 1 1 号

第 1 回山陽小野田市社会教育委員会議の結果について

標記の会議を開催したので、山陽小野田市社会教育委員会議規第 5 条の規定に基づき、別紙のとおり報告します。

令和 7 年 1 0 月 2 3 日提出

山陽小野田市社会教育委員会議
委員長 江中 幸夫

■会議録

会 議	令和7年度 第1回 社会教育委員会会議
開催日時	令和7年9月19日(金) 14時00から16時00分まで
開催場所	山陽小野田市民館 第1・2会議室
出席者	山陽小野田市社会教育委員（14名中13名出席） 大田誠委員、間恵満貴委員、山本徳子委員、恵谷誠司委員、香川真澄委員、 矢野憲文委員、富田輝美委員、河崎平男委員、梶田智也委員、竹内道子委員、 瀬口康道委員、三上愛子委員、江中幸夫委員 事務局7名 長友教育長、山本社会教育課長、歴史民俗資料館若山館長、三浦課長補佐、 石田係長、正木係長、加藤係長
会議次第 及び結果	(辞令交付式) (社会教育委員会会議) 1 教育長あいさつ 2 委員自己紹介 3 委員長・副委員長選出 ・委員長に江中委員、副委員長に矢野委員、香川委員を選出 4 委員長・副委員長あいさつ 5 議題 (1) 社会教育委員会会議について ・教育基本法、社会教育法を用い社会教育や社会教育委員の職務について説明。 ・昨年、一昨年の社会教育委員会会議についての振り返り。 (2) 教育委員会組織について ・社会教育関連職員（地域交流センター長含む）の異動について説明。 (3) 社会教育関連事業について - ア 令和7年度社会教育推進の指針 - イ 令和7年度社会教育予算関係 - ウ 令和6年度社会教育施設利用状況 それぞれ、資料に沿って説明。主な説明事項は以下のとおり。 ・社会教育推進指針は、「学び」を通じて「ひとづくり」を進めるため豊かな人間性の育成、地域課題を解決する人材の育成を2つの基本方針とし、それらを支える活動領域として6つの領域において分野別努力事項を定めており、さらにそれらを横断した「地域力・学校力・家庭力向上プロジェクト」を実践している。 ・山下記念館解体事業が終了したこと、きらら交流館のシティセール課への所管替えによる予算減額 ・図書館臨時的経費は照明器具改修事業の終了に伴い予算減額 ・歴史民俗資料館臨時的経費について説明 （企画展4回分、歴史講演会2回分、体験教室4回分） 6 講演 演題：「社会教育委員は『社会の羅針盤』」 講師：山口市社会教育委員会 木橋悦二議長 ・社会教育委員には「市民への社会的ビジョンの提言者」としての責務が

	あり、未来志向の羅針盤となることで、社会教育の目的である市民の well-being を実現することができるという内容 ・ 山口市における社会教育委員の活動がいかに活発であるかを知ることができたこと、新任者に限らず再任者にとっても社会教育委員の役割を再認識でき、今後の活動に一層意欲を燃やすきっかけとなった。 7 その他 (1) 第 47 回中国・四国地区社会教育研究大会山口大会 11 月 20 日（木）～21 日（金）に山口市総合健康会館、セントコア山口にて開催される。参加について調査票を提出するよう依頼 (2) 次回の会議について 8 社会教育課長あいさつ
--	---